

大学院生 のための 進路選択 ガイド

Career Path Guide



研究が楽しくて
博士後期課程に
進学したけど…

アカデミアに
進みたいけど
将来が見えないし…

自分の専門を
活かせる企業が
思い浮かばない…

周りには
キャリア相談
できる同期が
少ないし…

研究が忙しくて
就職活動が
なかなか
できない…



そんなあなたは、まず企業と接し
てみよう、研究をするなら産業界と
いう広く大きな世界がある事に気が
付きます。

思いもよらない企業があなたの方
うな人材を探しているかも

P4でHi-Systemへまず登録、
P11へGo!

D2/D3/PD
Type.1

【研究没頭タイプ】

●一生懸命研究に没頭し、気づいたら…さて将来どうしよう!!

あなたはどのタイプ?

Type.2
M1/M2/D1

●DC進学か就職か、考え時だなあ…

●まだ余裕があるぞ、アカデミアか
企業か、しっかりと情報収集しよう!!

【計画設計タイプ】



そんなあなたは、自分の専門性の
活かし方を探ってみよう、そして
プラスアルファのスキル習得で大きく
幅を広げられるかも

P4でHi-Systemへまず登録、
P6へGo!

早いうちに複数の
選択肢を検討して
おきたい…

研究は楽しいけれど
博士後期課程は
将来が不安…

企業では
どのような研究が
できるんだろうか…

大学と企業って
研究のやり方が
違うのかなあ…

社会に出てから
役立つスキルを
身に着けたい

人材育成本部が提供するプログラム全体像

※どの段階からでも利用できます。

企業就職 ▶ 活動開始

実践参加型
(DC・PD)

⑪ 博士力実践インターンシップ

業務を経験
……P16へ

⑩ 産学シーズ／ニーズマッチング人材交流会／
企業研究サイトビジット

企業で論議
……P15へ

⑨ 企業事業所視察

企業を見る
……P14へ

⑧ 赤い糸会&緑の会

企業と論議
……P12へ

⑦ J-window (進路相談)

DC・PD限定
……P11へ

実践重視のD2、D3、PDへ

⑥ ビジネスコミュニケーションセミナー

ステップアップ
……P7へ

⑤ ビジネスマナーの基本と実践

常識を知る
……P7へ

④ キャリアパス多様化支援セミナー

仕事を知る
……P10へ

③ Advanced COSA / COLA

企業を知る
……P8へ

② キャリアマネジメントセミナー

企業を知る
……P6へ

余裕のあるM1～D1へ

① Hi-System 登録

まずは
ここから!

全員登録!
……P4へ

意識改革型
(MC・DC・PD)

① Hi-System登録 (Registration to the Hi-System)

MC・DC・PD

イベントの
お知らせが
届きます
(Event News)

企業情報や
就職情報の
閲覧が可能
(Company Info)

企業への
自己PRを
発信できます！
(Expose your PR
Information)

Hi-System

若手研究者 (MC/DC/PD) の社会活躍をサポートするWEBサイト
Exclusive information exchange platform



僕はアカデミア志向…
だけどTransferable Skill
はどんな場面でも必要だ。登録
して活用しよう！



MCでの就職も、DC進学後に
就職するのもおもしろそう。
情報やイベント満載だわ！
早く登録しよっと。

まずはご登録
ください！

Hi-Systemへは人材育成本部ホームページよりアクセス！
<http://www2.synfoster.hokudai.ac.jp/>
左バナー「Hi-System」→Hi-Systemログインページへ



みなさんをサポートするチームです

S-cubic

S-cubicは大学院生のキャリア形成支援活動を推進しています。DC進学を考えているMCから、DC在学生、またPDの皆さんが、特に産業界へ進むために必要な情報や実践スキルの提供、カウンセリング、産業界とのマッチングの場の設定、インターンシップ派遣など、幅広く濃密なサービスを提供しています。Hi-Systemに登録し、積極的に活用して下さい。

COFRe

COFReはS-cubicで実施しているプログラムに加え、8大学（東北大学、名古屋大学、大阪大学、お茶の水女子大学、横浜国立大学、立命館大学、兵庫県立大学、沖縄科学技術大学院大学）の様々なプログラムを北大の皆さんに提供しています。是非、それらの開催情報をお知らせするHi-Systemに登録し、企業と皆さんのマッチングやスキルアップにご活用ください。

I-HoP

I-HoPはS-cubicで実施しているプログラムを、英語で学ぶ外国人大学院生や研究者に提供しています。英語でのキャリアカウンセリングなど、是非ご活用ください。

次ページからプログラムの紹介をします！



② キャリアマネジメントセミナー（授業）

1. 就職したい企業の分析法がわかる!
2. 企業の研究開発の考え方がわかる!
3. 企業マネジメント法を活用できる!



企業就職を目指す大学院生(MC・DC)や博士研究員(PD)向けの、1コマ毎の読み切りタイプの授業です。大学と企業での研究活動における考え方の違いや、企業研究人材として必要なマーケティング、マネジメント、プレゼンテーション、リーダーシップ、企画書の書き方など実践的な内容です。昨年は400人を超す受講者がありました。函館の水産科学院にも同時中継しています。

1. 大学院共通授業科目

「キャリアマネジメントセミナー(MOT関連)」(2単位)

2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目 (研究指導科目を含む)

キャリア実践科目「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)

3. 水産科学院修士課程学院共通科目

「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)

2018年度実施状況

	講義内容	講師	
1	基礎研究から新事業への道	人材育成本部	樋口直樹
2	イノベーションを起こす	人材育成本部	樋口直樹
3	企業の種類と分析	人材育成本部	樋口直樹
4	知的財産マネジメント	人材育成本部	吉原拓也
5	アントレプレナーシップ	グラムス	山下良一
6	プレゼンテーション	物質材料研究機構/元NHK科学番組ディレクター	小林隆司
7	マーケティング	村上税理士事務所	村上幸男
8	商品創造/新商品開発	小林製菓	川西貴
9	リスクマネジメントとコンプライアンス	サントリーホールディングス	原口昭
10	企画書の書き方	人材育成本部	樋口直樹
11	企業(1)先端技術と新規事業	ダイキン	国政恵子
12	企業(2)先端技術と新規事業	ヤマハ	橋本誠一
13	企業(3)先端技術と新規事業	ハウス食品グループ本社	上野正一
14	企業(4)先端技術と新規事業	ANAホールディングス	津田佳明
15	リーダーシップ	人材育成本部	樋口直樹

2019年度実施予定

開催日時:2019年4月~8月
毎週1コマ 全15回

受講方法

①Hi-Systemに登録し、イベント情報から「2019年度キャリアマネジメントセミナー」へ申込み。

②単位希望者は①に加えて所属部局に履修届を提出。

※詳細はシラバスをご覧ください



2018年度受講者アンケートより

キャリアについて考える機会はこの講義を履修するまでありませんでした。キャリアに関する知識を得ることが出来たほか、実際に企業で活躍する講師の方のお話を聞いたことはとても貴重な機会でした。素晴らしい機会を頂き有難うございました。

15コマの講義を通して、社会の仕組みや動きの見方・調べ方などが分かり大変勉強になりました。今後社会で生きていくなかで、本講義で学んだことを活かしながら活躍していきたいと思えます。

全体を通してとても役立つ授業だった。企業研究だけでなく、これからの大学院で過ごす時間を充実させるのに有意義な内容だったと思う。

受講者の声



⑤⑥ キャリアマネジメントセミナー（演習）

1. 就活のビジネスマナーが身につく!
2. プレゼンテーション力が向上する!
3. コミュニケーション力が向上する!



社会との接点構築に必要なビジネスマナー（礼儀作法、服装、挨拶など）及びビジネスコミュニケーションに関するセミナーです。

ANAビジネスソリューション(株)より経験豊かな講師をお迎えしています。

ビジネスマナーの基本と実践

2019年度実施予定

2019年10月上旬(予定)

MC・DC・PD対象

スケジュール

- ・AM:講演(90分)
- ・PM:演習(270分)

2018年度実施状況



札幌会場



函館会場

第1部は大人数制の講演、第2部は少人数制の演習です。

第1部ではビジネスマナーの基本である接遇の考え方や言葉遣いなどについて講演していただきます。

第2部では第1部の基本をふまえたうえで、名刺交換や訪問応対などロールプレイを交えた参加型の実習を行います。

2018年度受講者アンケートより

面接が実際にどのように進められるか知ることができ、非常に役立つと感じました。

色々な人と実践的な内容で演習出来て、とても有意義だと思った。

就活、さらに社内での人間関係を円滑にできるヒントが多かった。

ビジネスコミュニケーションセミナー

2019年度実施予定

2019年11月上旬(予定)

DC・PD対象(余裕があればMCも可)

スケジュール

演習 10:00~17:00

ビジネスマナーを含め企業の方とのコミュニケーションを中心に指導いたします。

相手に良い印象を残す話し方や、もう一度会ってみたいと思わせる話し方などコミュニケーションの取り方を中心に、自分の知識・情報・考えなどをより分かりやすく伝えるための自己表現方法を学びます。



2018年度実施状況



2018年度受講者アンケートより

演習が多く充実した内容でした。自分の課題を見つけることができ、今後に活かしていきたいと思っています。

フィードバックをいただけるのは非常に良いと思います。

③ Advanced COSA

1. 企業の研究開発の実際を知ろう!
2. 企業人の研究開発人生を知ろう!
3. 企業で活躍する先輩達と話そう!



企業研究開発の第一線で活躍されている研究所長や研究部長クラスの方を主な講師としてお招きし、大学の中では触れることの少ない企業研究の実際やその魅力、研究マネジメントや博士の活躍ぶりなどを事例も交えて紹介します。また、若手企業人の北大博士先輩もお呼びして年齢の近い企業研究者のお話しも盛り込みます。2日間の集中講義です。

1. 大学院共通授業科目
「理系・科学技術系大学院生のステップアップキャリア形成I、II」
—Advanced COSA(1)、(2)—(各1単位)
2. 生命科学 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)
「理系・科学技術系大学院生のステップアップキャリア形成I、II」
(各1単位)
3. 水産科学院修士課程学院共通科目
「ステップアップキャリア形成I、II」(各1単位)

2019年度開催予定

Advanced COSA(1):2019年8月(予定)

Advanced COSA(2):2019年11月下旬(予定)

スケジュール

(1日目)

- ・ガイダンス(30分)
- ・企業講師①講演(120分)
- ・昼休み(60分)
- ・質疑応答(60分)
- ・企業講師②講演(120分)
- ・質疑応答(60分)
- ・懇親会(90分)

(2日目)

- ・企業講師③講演(60分)
- ・質疑応答(50分)
- ・企業講師④講演(60分)
- ・昼休み(60分)
- ・質疑応答(50分)
- ・企業講師⑤講演(60分)
- ・質疑応答(50分)
- ・総括討論、まとめ(30分)

※詳細はシラバスをご覧ください

これまでの講演企業

(敬称略、五十音順)

- | | |
|------------|--------------|
| ■ IHI | ■ 住友化学 |
| ■ 旭化成ケミカルズ | ■ 住友林業 |
| ■ 味の素 | ■ 第一三共 |
| ■ アステラス製薬 | ■ 大日本住友製薬 |
| ■ エーザイ | ■ 中外製薬 |
| ■ 応用地質 | ■ デンソー |
| ■ 大塚製薬 | ■ 東急建設 |
| ■ 花王 | ■ 東レ |
| ■ カネカ | ■ 日本IBM |
| ■ キューピー | ■ 日本電気 |
| ■ 神戸製鋼所 | ■ 日本電産 |
| ■ コーセー | ■ ノバルティスファーマ |
| ■ サッポロビール | ■ パナソニック |
| ■ サントリー HD | ■ 日立製作所 |
| ■ JSR | ■ 丸紅 |
| ■ JNC | ■ ヤンマー |
| ■ シスメックス | ■ ライオン |
| ■ 資生堂 | ■ レノバ |
| ■ 新日鐵住金 | ■ ロート製薬 |
| ■ 酔鯨酒造 | |

2018年度実施状況



レノバ・小川講師



大日本住友製薬・坂東講師



東急建設・荒川講師



日立製作所・下出講師



大塚製薬・宮脇講師



デンソー・川原講師



資生堂・吉田講師



ロート製薬・黒瀬講師



ノバルティスファーマ・林講師



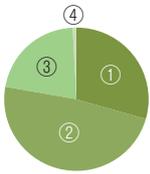
新日鐵住金・筒井講師

2018年度受講者アンケートより

質問1:企業での研究開発に魅力を感じたか?

- ①大変魅力を感じた
- ②ある程度魅力を感じた
- ③どちらでもない
- ④感じられなかった

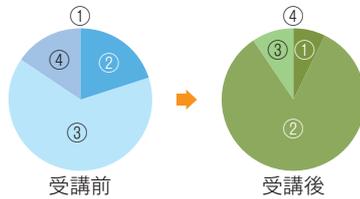
①②の肯定的な感想が89%



質問2:講義を聴く前後での企業研究の理解度の変化

- ①よく理解している
- ②ある程度理解している
- ③よく理解していない
- ④全く理解していない

①②のある程度以上 理解の比率が20%→91%



■受講生より■

- 各講師の方々の経歴やそのときの思い、現在の仕事内容まで赤裸々に語ってくださり参考になりました。特に今後の人生のために今意識した方がよいことをすべての講師の方から吸収することができました。
- 自分が就職活動を控え、自分の将来を考えると今までにないほどのロールモデルに出会えた気がします。すべての内容がとても刺激的でした。将来に希望が持てました。
- 周囲にいる博士課程の人は限られており、さらに博士課程を出て働いている方の話を聞いたのは初めてだったため、貴重な機会を得られたと思います。

先輩からひとこと

筒井 和政

新日鐵住金株式会社
技術開発本部 先端技術研究所 数理学部 数学応用グループ
H28年6月 北海道大学 大学院
理学院 博士後期過程 修了



■研究者としての経歴と企業に入ったきっかけ

私は、2016年に、北海道大学大学院 理学院で博士課程を修了しました。在学中は、物性物理学の分野の研究に取り組みました。具体的には、ボーズ粒子と呼ばれるミクロな粒子で構成された気体に、極低温で現れる、「ボーズ・アインシュタイン凝縮」と呼ばれる量子相転移現象を研究していました。この現象を知ったのは、学部時代の統計力学での講義でしたが、縁あって、博士課程修了まで、この現象に関する理論的な研究を行いました。この期間で、手計算や、数値計算に習熟することができました。

博士課程に進学し、学位取得に向けて研究を遂行する一方で、果たして産業界と、学術界のどちらで働きたいかを考えるようになりました。赤い糸会の存在は知っていたため、まずは何度か参加し、企業の情報を収集しました。多彩な研究領域が産業界にもあることを知り、刺激を受けました。

しかし、なかなか結論がでなかったため、悩みを整理することにしました。はじめに、どのような職につきたいか、ということから考え直すことにしました。結果、自分は研究が好きであると確信できたので、研究職のポストを探することにしました。次に、行き先を、産業界にするか、学術界にするかを検討しました。物理学の枠にとらわれず、幅広く自身の知見を深めたいという思いに至り、進路を産業界に決めました。そして就職活動を行い、現在の所属である新日鐵住金株式会社に、研究職として所属することとなりました。現在は、鉄鋼材料中のミクロ組織に関する研究に取り組んでいます。

■博士課程の皆様へ

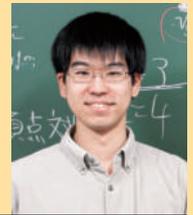
博士課程の学生にとって、学位取得後に、学術界と産業界のどちらに進路をとるか、悩み事のひとつとなるかと思いますが、そんなときは、赤い糸会等のイベントを積極的に活用し、産業界の情報を収集したり、目の前の研究に存分に打ち込んだりと、後悔の残らないように日々を過ごし、自分の進むべき道を固めていってほしいです。また、博士号を取得するということは、誰しも、少なくとも一つの研究テーマを遂行し、新規の知見を見出し、論文にまとめるという、一連のプロセスを経ることになると思います。これは研究を業とする者には、不可欠な能力であります。それ以外の職務における問題や課題に対処する際にも、たいへん有用な能力であると思います。末筆となりましたが、皆様が学術・産業界を問わず、活躍されることを願っております。

OG Message

Advanced COSAに参加して

今野 翔平

北海道大学 大学院
総合化学院 総合化学専攻 (DC3)
H31年3月修了予定
→株式会社データフォーシース内定



就職先を決めるということは大変なことです。業界や職種はどれか、何をやりたいか、それを実現できる場所はどこかなど考えることが沢山あります。一方、働いたこともない業界や仕事について、私が知っていることは多くありません。そこで、企業で働く方のお話を直接聞くことができるAdvanced COSAに参加するようになりました。

Advanced COSAは幅広い業界の企業で研究開発に携わる様々な方と交流できるイベントです。講演では、企業理念やキャリアパス、企業における研究の実例など、幅広い内容のお話を聞くことができます。講師は企業の研究所長から北大のOB・OGの若手研究者まで幅広い立場の方々なので、企業理念や業界などの大きな話から就職活動や入社後の研究などの具体的な話まで幅広い話題が登場します。さらに、各講師に対してまとまった質疑応答の時間が設けられているため、講演で疑問に思ったことを質問して理解を深めることができます。

そして一番重要なのが懇親会です。自由参加ですが、ぜひ参加しましょう。講師や人材育成本部の方々や直接交流することができます。懇親会では疑問に思っていることを講師や人材育成本部の方にフランクに聞くことができます。普段の研究室生活では聞かない方と直接交流できるため、企業への理解を深めるだけではなく、社会人と積極的にコミュニケーションする練習の場にもなります。

様々な業界、企業の方のお話を何度も聞くうちに、同じ研究開発職であっても業界・企業によってキャリアパスや風土、求める人材が異なることを理解できました。企業や業界ごとの違いを元に、自分に合った環境で希望するキャリアパスを目指すことができる企業はどこなのかと考え、そして探し続けた結果、データフォーシースから内定を頂くことができました。私の就職活動は人材育成本部を使い倒すような活動で、お世話になった教員・スタッフの方々には大変感謝しています。就職活動の入口としてぜひAdvanced COSAに参加してみてください。

Advanced COLA

MC・DC・PD

人文・社会科学系大学院(博士課程)を修了後、アカデミアではなく産業界にその活躍の場を見出された企業人の方をお招きし、大学の中ではなかなか知ることのできない企業活動の実態やその魅力を語っていただくとともに、人文/社会科学系の学位の意義についても論議します。

2018年度実施状況



データフォーシース・市川 詩郎



日本入試センター・百瀬 謙



日本アイ・ピー・エム・黄 詩姆

2018年度受講者アンケートより

文系博士の就職イメージが出来た。見えにくいことが多かったので直接お話しが出来てよかった。

全体を通じて、自身の適性と志向を深く理解することができればアカデミックポスト以外にも多様な選択肢が広がっていることを実感できる講演でした。

④ キャリアパス多様化支援セミナー

1. 試験管を振る以外の理工系人生!
2. これからは交渉力が無いとダメ!
3. 自分のアイデアやスキルで起業!



キャリア形成に必要な情報の提供や能力の開発とともに、企業におけるプロジェクト推進の実際や、大学院生が大学内では得ることが難しい多様なキャリアの実際情報を、既にそのキャリアを獲得した社会人を招いて講義をしていただく内容です。具体的には研究者と最もかわりの深い知的財産権を扱う仕事、これからますます必要になる交渉学などについて、テーマを絞って講演いただきます。

1. 大学院共通授業科目
「博士研究者のキャリア開発研究—赤い糸会&緑の会—」(1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)
「博士研究者のキャリア開発研究」(1単位)

後期に開催される年間3~4回の赤い糸会のうち1回、ならびに各赤い糸会に付随するプレゼンテーション演習1回を受講、さらに年間3回程度開催のキャリアパス多様化支援セミナーか年間1回開催の企業事業所視察のうち少なくとも1回参加が単位取得の必須要件です。

※詳細はシラバスをご覧ください(単位に関してはDC限定)

2019年度実施予定

I(知的財産権):2019年6月(予定)

企業での研究開発成果は知的財産権で保護する必要があります。そのためには技術を熟知し、論理的思考能力を発揮できる人材が必要になります。企業の知財活動の実際を学び、自身の可能性を探求します。

II(プロジェクトファシリテーション):2019年7月(予定)

会議運営の課題を共有し、ファシリテーションによる効率的かつ効果的な会議運営術を学びます。ファシリテーションとは、グループ活動が円滑に行われるように、中立的な立場から支援を行うこと、またそのための技術のことを指します。

III(交渉学):2019年7月(予定)

交渉学を学習するために作成されたケースを用い、交渉の事前準備と交渉シナリオ作成、ロールシミュレーション(模擬交渉)の実施と交渉結果のフィードバックを通じて交渉学の基礎を実践的に学びます。

IV以降は講師の予定を調整し実施する可能性あり。

これまでの講演企業

(敬称略、五十音順)

- | | |
|--------------|------------------|
| ■ IT教育研究所 | ■ 大日本印刷 |
| ■ アカリク | ■ 東京富士大学 |
| ■ 味の素 | ■ 日本電気 |
| ■ 内田・鮫島法律事務所 | ■ ノエビア |
| ■ AgIC | ■ パナソニックIPマネジメント |
| ■ 王子HD | ■ ビザスク |
| ■ オリジナルペット | ■ 日立製作所 |
| ■ 金沢工業大学 | ■ 富士フイルム |
| ■ カブク | ■ 古河ファイナンス・アンド・ |
| ■ 神戸製鋼所 | ビジネス・サポート |
| ■ サントリー HD | ■ ブルックス |
| ■ ジーンクエスト | ■ ベビログ |
| ■ シスメックス | ■ メタジェン |
| ■ 積水化学工業 | ■ メルティンMMI |
| ■ セルバンク | ■ リバネス |

2018年度実施状況

I 知的財産権



味の素 金井講師

日立製作所 鈴木講師

富士フイルム 浅見講師

2018年度受講者アンケートより

「企業に入ると特許が大事」と漠然と各所から話を聞いて知ってはいましたが、なぜ大事なのか、企業戦略としてどのように使うのか、そしてその仕組みはどのように変遷していくのか理解することが出来ました。



パネルディスカッション

知財が自分が思っていたものより非常に大きく深い世界だと感じ、興味を惹かれました。

II プロジェクトファシリテーション



古河ファイナンス・アンド・
ビジネス・サポート 関講師

グループワーク1

グループワーク2

2018年度受講者アンケートより

プロジェクトの動かし方、ファシリテーションの効果的な手法について非常に多くのことを学べた。



意見交換

ファシリテーションというものを初めて知ったが研究だけでなく、日常でも使えるような有効な技術であることがわかった。今後より深くこれについて学んでみたい。



東京富士大学 隅田講師



グループワーク1



グループワーク2

2018年度受講者アンケートより

交渉というものに対する考え方が変わり、論理的な思考に基づくものであることがわかった。

対話と会話の違いという単純なところから、「はっ」とさせられる身近なゼミなどの場面で使える技術がたくさん盛り込まれていた。

⑦ J-window (進路相談)

DC・PD

1. 企業と博士の接点を構築します!
2. 博士専用進路(就職)相談窓口!
3. 担当はすべて民間企業出身教員!



主な就職先

(敬称略、五十音順)

<ul style="list-style-type: none"> ■ WDBエウレカ ■ 朝日新聞社 ■ アステラス製薬 ■ アルビオン ■ 出光興産 ■ 内田・鮫島法律事務所 ■ 小野薬品工業 ■ 花王 	<ul style="list-style-type: none"> ■ カネカ ■ 協和発酵キリン ■ グレハ ■ ケミクレア ■ 神戸製鋼所 ■ コニカミノルタ ■ JSR ■ JNC 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 塩野義製薬 ■ シスメックス ■ 資生堂 ■ 島津製作所 ■ 昭和電工 ■ 住友化学 ■ 積水化学工業 ■ ソニー 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第一三共 ■ ダイセル ■ 大日本住友製薬 ■ 中外製薬 ■ データフォーシース ■ テクノプロ・R&D社 ■ 東芝 ■ 同仁医薬化工 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東ソー ■ 東レ ■ とめ研究所 ■ 日東電工 ■ ニプロ ■ 日本たばこ産業 ■ ノバルティスファーマ ■ 日立製作所 	<ul style="list-style-type: none"> ■ プライムリンク ■ 古河電気工業 ■ 三菱ケミカル ■ 三菱電機 ■ ヤフー
--	--	--	--	---	--

J-window を活用して

穴戸 裕子

名古屋大学 大学院
理学研究科 物質理学専攻(化学系)生物有機化学研究室(PD)
H30年9月 北海道大学大学院生命科学院博士後期課程 修了
→住友化学株式会社内定



就職活動を終えて、自分のやりたいことができそうな企業、自分を必要としてくれる企業は思わぬところにあったんだなぁと実感しています。そう思えたのがJ-windowです。

企業で研究がしたい、海外でも働いてみたい、そのためには博士号が必要だ、と漠然と考えて博士課程に進学しました。就職活動は早めにとと思い、先輩からの勧めもあってD1から赤い糸会に参加しました。事前のプレゼン演習が先生方との初めての出会いで、それ以来多くの相談をさせて頂きました。特に、企業選びについては多くのご助言を頂きました。それまで、薬学部出身=製薬企業と考えていました。赤い糸会に参加した際も製薬企業の方と話すことが多かったのです。しかし、自分の研究分野は製薬企業の求める人材と少しズレがあるのではないかと感じることもありました。そんな時、J-windowの個別相談を利用し、「自分が違うと思っている企業も見てみるようにね」と言って頂き、考え方が変わりました。それ以後参加した赤い糸会やAdvanced COSA、産学シーズ/ニーズマッチング人材交流会では様々な企業の方とお話するよう心がけました。そして、自分の研究は企業の方にどう映るのか、自分は企業に入って何がしたいのか、企業では何が求められているのかを追求しました。就職活動が本格化してからは、先生方にES添削をして頂き、面接前に電話でアドバイスを頂きました。また、面接を控えた企業のOBOGとお話できるよう繋げて頂きました。視野を広げた結果、産学シーズ/ニーズマッチング人材交流会での出会いをきっかけに、予想もしていなかった企業から内定を頂くことができました。

今後、就職活動を行う皆さん、ぜひJ-windowを活用して悩んでいることを思いっきり先生方に話して下さい。どんな時も大きな力になって頂けること間違いのないと思います。そして自分の専門性を活かせる素敵な企業に出会えることを心より祈っています。

最後に、樋口先生(元担当教員)、吉原先生をはじめ、人材育成本部の先生方、スタッフの皆様には多くのご支援とご助言を賜りました。この場を借りて深く御礼申し上げます。

J-window を活用して

田崎 太悠

北海道大学 大学院
総合化学院 総合化学専攻 (DC3)
H31年3月修了予定
→株式会社アルビオン内定



J-windowは博士後期課程および博士研究員の就職活動をサポートする窓口のようなプログラムであり、企業における採用担当歴や博士号を有する先生方から企業の選定・キャリアプランに関するアドバイス、エントリーシート(ES)の添削・指導、面接練習などを受けることができます。博士学生の就職活動は一般的な学部学生や修士学生の就職活動とスケジュールや募集形態が異なる場合があり、独自に情報を得て行動する必要があります。また、企業によって博士学生に対して求めるものも異なるのでJ-windowにおけるサポートは非常に有用です。

私は面接対策時に初めてJ-windowを利用し、以後ESの添削等もお願いしておりました。先生方の指導を経て就職活動の各プロセスにおいて企業が何を求めているか、そのためにどうすれば良いかを徐々に理解できるようになりました。また、ES添削や面接練習を行っていただいただけでなく自身の専門性や興味から関連の高い企業の北大OBの方とお話する機会をいただきました。これによって実際にその企業が何を指し、どのような戦略を持っていて、今後どうしていく必要があるか、そこに自分がどのように貢献できるかが想像できるようになりました。私は企業の説明会や座談会、WEB上の情報から学生が得られる企業像は抽象的・部分的であり、実態は直接社員の方から何うなどしなければ得られないように感じていました。そのため、私はJ-windowを介して社員の方と接点を作り企業を深く知ることで志望度が格段に上がり内定を頂くまで頑張れました。

J-windowは企業の採用と博士課程を熟知した先生方から直接指導していただける非常に貴重なサポートプログラムです。これから就職活動において自己分析や情報収集を行う際にぜひJ-windowを活用してみてください。思わぬ巡り合せから円滑に就職活動を進めることができるかもしれません。

最後に、就職活動を行うにあたり貴重な時間を割いて支えていただいた樋口先生(元担当教員)、吉原先生、スタッフの皆様にも深く感謝を申し上げます。

⑧ 赤い糸会&緑の会

DC・PD



1. 博士に対する企業の期待を聞く!
2. 博士の力を企業にアピールする!
3. その後に繋がる濃密な相互交流!

企業約16~20社、若手博士研究者(DC,PD)約40~50名が一堂に会し、Face to Face の直接的な情報交換を行います。参加企業は自社の新事業、新規研究テーマ、博士人材への思いなどメッセージをショートトーク等により若手博士研究者へ発信し、若手博士研究者も自らの人となりや研究スキルをポスターで発表、企業担当者にアピール、密度の高いマッチングを狙います。ここからインターンシップや実際の就職につながった例は数知れません。

1. 大学院共通授業科目
「博士研究者のキャリア開発研究—赤い糸会&緑の会—」(1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)
専門科目(研究指導科目を含む)
「博士研究者のキャリア開発研究」(1単位)

後期に開催される年間3~4回の赤い糸会のうち1回、ならびに各赤い糸会に付随するプレゼンテーション演習1回を受講、さらに年間3回程度開催のキャリアパス多様化支援セミナーか年間1回開催の企業事業所視察のうち少なくとも1回参加が単位取得の必須要件です。

※詳細はシラバスをご覧ください

2019年度実施予定

2019年9月~1月に3回程度実施予定

スケジュール

- ・主旨説明(20分)
- ・企業講演(100分)
- ・昼休み(60分)
- ・企業講演(60分)
- ・若手研究者のポスター発表(110分)
- ・企業との個別交流(120分)
- ・情報交換交流会(90分)

これまでの講演企業

(敬称略、五十音順)

■ IHI	■ 島津製作所	■ 日本エ・ア・リキード
■ アクセンチュア	■ 昭和電工	■ 日本ゼオン
■ 旭化成	■ 信越化学工業	■ 日本たばこ産業
■ 朝日新聞社	■ 新日鐵住金	■ 日本電気
■ アステラス製薬	■ 住友化学	■ 日本電産
■ アミノアップ化学	■ 住友金属鉱山	■ 日本電信電話
■ アルピオン	■ 住友電気工業	■ 日本入試センター
■ 大塚製薬	■ 第一三共	■ ノバルティスファーマ
■ 花王	■ タイセル	■ パナソニック
■ カネカ	■ 大日本住友製薬	■ パナソニックヘルスケア
■ キューピー	■ 太陽HD	■ 富士通研究所
■ 京セラ	■ 大和ハウス工業	■ プリチストン
■ キリン	■ 竹中工務店	■ ボッシュ
■ クラシエ製薬	■ 田辺三菱製薬	■ 堀場製作所
■ クレハ	■ 中外製薬	■ マルハニチロ
■ ケンブリッジコンサルタンツ	■ データフォーシーズ	■ みずほ第一フィナンシャルテクノロジー
■ 神戸製鋼所	■ テクノステータサイエンス・エンジニアリング	■ 三菱ケミカル
■ コーセー	■ テルモ	■ 三菱電機
■ コニカミノルタ	■ デンソー	■ 矢崎総業
■ 三桜工業	■ 東急建設	■ ヤフー
■ サントリーHD	■ 東芝	■ ライオン
■ シーメンス	■ 同仁医薬化工	■ リコー
■ JSR	■ 東レ	■ レノバ
■ JNC	■ トクヤマ	■ ロート製薬
■ 塩野義製薬	■ とめ研究所	
■ シスメックス	■ 日本IBM	
■ 資生堂		

2018年度実施状況



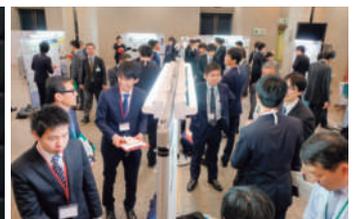
本部長挨拶



主旨説明



企業講演



ポスター発表



ポスター発表



個別交流



エンレイ賞授賞式



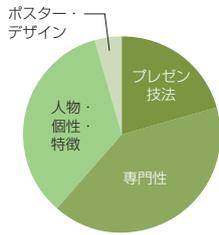
情報交換交流会

過去4回のアンケート結果

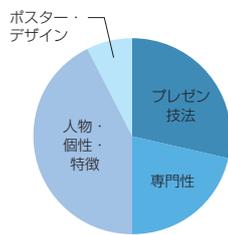
企業:71社・165名、研究者:165名(延べ数)

ポスターセッションについて

DC-PDがアピールできた点



企業が注目する点



■DC、PDより■

- 今まで感心を持っていなかった企業のマッチングや自分の強みがわかった点良かった。
- 異分野のことも知れる機会にもなった、視野が広がる点でも良い。
- 企業の方々がどのように研究に取り組んでいるかアカデミアとの違いは何か考えることが出来ました。

■企業担当者より■

- 学生のポスタープレゼンなどで指導が伺える様子であり、学生にとって大変いい機会になっていると率直に感じました。企業にとっても学生と知り合える貴重な機会となりました。
- 大変有意義な会でした。会社説明会以上に学生の方と接することができました。
- 博士と企業が研究や仕事を軸に、深く交流ができるすばらしい機会です。回を重ねることによりパワーアップされ、毎年楽しみにしています。

赤い糸会に参加して 武藤 芽未

ノバルティス ファーマ株式会社
メディカル本部
H30年3月 北海道大学 大学院
獣医学研究科 博士後期過程 修了

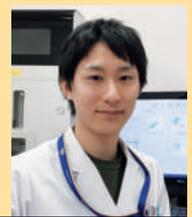


赤い糸会はその名の通り、企業と学生のお見合いのようなものだと思います。私はDC3の時に赤い糸会に計3回参加し、そのご縁で第一志望の企業から内定を頂きました。赤い糸会では自分のバックグラウンドと異なる企業の説明会にも積極的に参加し、自分だったらこの企業でどのような仕事ができるかという点を常に考えながら、企業の方とお話をしました。参加している学生も含めて多くの人と交流をし、自分の強み・弱みを冷静に見極めることが出来たと感じています。また赤い糸会では、企業から研究や発表態度についてのフィードバックがあります。もらったコメントをいかに次回に活かすかを考えることで、会を重ねるごとに自分が進化していくのが実感できました。自分自身の出来ることとプラス博士人材として求められることをよく理解し、その企業がどのような人材を求めているのかという相手の立場に立った就職活動ができると、一緒に働きたい人材であると感じてもらえるかもしれません。

私自身は企業に就職するという決断をしてから、何を軸として就職活動を行うかをじっくり考えました。自分の理想とする未来を実現するためには、どのような働き方をしたいのか。この軸を実現できるのはどこなのか。この部分をしっかりと自分の言葉で伝える練習を行いました。企業への就職を少しでも迷っている方は是非一度赤い糸会に足を運んでみることをお勧めします。博士課程を修了した皆さんは、ご自身で思っているよりも様々な企業、社会から必要とされています。新しい道を拓くことも十分に可能であると感じますので、ご自身の可能性を広げるためにも一歩を踏み出してみてください。北海道大学では博士課程学生や博士研究員に対するサポートが非常に充実しており、この機会を積極的に利用しない手はありません。最後に、樋口先生(元担当教員)をはじめとする人材育成本部の皆様には多大なるご支援を賜りました。この場をお借りして御礼を申し上げます。

赤い糸会に参加して 辻 飛雄馬

北海道大学 大学院
医学研究科 医学専攻 (DC4)
H31年3月修了予定
→株式会社資生堂内定



「足の裏のご飯粒」とは取らないと気持ち悪いがとっても食えないという博士号を揶揄した言葉だそうです。誰が言ったのかは知りませんが、上手いことを言います。しかし、この言葉はどうやら過去のもののようで、産業界での博士の需要は年々上昇しているようです。私は博士に進学した当時から、自分が携った研究が製品となり世の中に出ていくのを見たいという思いがあり、民間企業への就職を考えていました。しかし、上の様な言葉から、博士課程での就職活動をとっても不安に感じていました。この様な不安を払拭してくれたのが赤い糸会でした。

赤い糸会には様々な分野・業種の企業が参加されます。赤い糸会のプログラムには企業側からのプレゼンがありますが、そこでは企業が博士にどのような能力を期待するのか、あるいは改善してほしい点などがあげられ、普段研究室に籠もって聞いていない貴重な情報を知ることが出来ます。

学生側からのポスター発表では、自分の専門分野とは異なる方にも説明する機会があり、説明の分かりにくいところが判明したり、意外な気付きあったりとても新鮮でした。私は生物系の人間ですが、IT系の企業や住宅メーカー、重工メーカーの方から自分の研究や専門を活かすことの出来るプロジェクトの話や、考えてもみなかった職種を進められることがあり、とても参考になりました。運命の人とマッチング出来るかは知りませんが、この様な異分野の方とお話し、進路の選択肢や自らの可能性を広げることが出来るのは赤い糸会の大きな魅力だと思います。

また、赤い糸会では自分以外の博士課程の学生を知ることが出来るのもメリットだと思います。赤い糸会に参加する博士課程の学生たちと知り合い、情報交換出来るのはその後の就職活動・研究に対して大変貴重です。

博士課程の学生は研究が忙しいことは十分承知しますが、一度外にも目を向け、民間企業に進みたい人に限らず、アカデミア志望の人も赤い糸会に参加することをおすすめします。

最後になりますが、多大なるご指導を頂きました樋口先生(元担当教員)、吉原先生をはじめ、多くのご支援を賜りました人材育成本部の皆様はこの場をお借りして御礼申し上げます。

プレゼンテーション演習

「赤い糸会」に参加する若手研究者は学会で専門家を相手に自身の研究内容を発表することには慣れていますが、ここに参加する企業の担当者は研究内容に関しては素人である場合が多いです。そのような相手に対し、専門性の高い内容をそのままぶつけても理解されません。本プログラムでは一般の人々に如何に自身のスキルや人間性を伝えるかを修得します。

2019年度開催予定

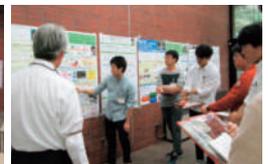
各回の赤い糸会および緑の会に先立って実施予定

講義内容

- 1.赤い糸会緑の会について
3つのセッション
- 2.ポスター発表について
自己アピールに必要な3要素
- 3.ポスター作成例について
タイトル、自己PR、研究報告
- 4.コミュニケーションについて
挨拶、プレゼンの極意
- 5.赤い糸会緑の会参加要領
まとめ
名刺、ポスター、積極姿勢



ポスター発表練習



講義

⑨ 企業事業所視察

DC・PD・(MC)

1. 実際に企業活動の現場を見よう!
2. 企業で活動する先輩と意見交換!
3. 自身が活躍するイメージを構築!



「赤い糸会」での若手博士研究者と企業とのマッチングのさらなる推進を目的として、企業の事業所を実際に訪問し、研究開発現場を実感するとともに、そこで働く企業研究者との交流から、自身のキャリアパスの多様性を感じ取り、人生を設計する一助とします。

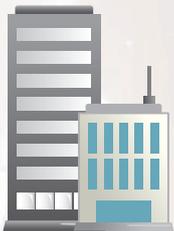
1. 大学院共通授業科目
「博士研究者のキャリア開発研究—赤い糸会&緑の会—」
(1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)
専門科目(研究指導科目を含む)
「博士研究者のキャリア開発研究」(1単位)

後期に開催される年間3~4回の赤い糸会のうち1回、ならびに各赤い糸会に付随するプレゼンテーション演習1回を受講、さらに年間3回程度開催のキャリアパス多様化支援セミナーが年間1回開催の企業事業所視察のうち少なくとも1回参加が単位取得の必須要件です。

※詳細はシラバスをご覧ください
(単位に関してはDC限定)

2019年度実施予定

2019年11月~2020年1月に実施する
赤い糸会の翌日



これまでの訪問企業

(敬称略、五十音順)

■ IHI	■ 島津製作所	■ 日本電気
■ 味の素	■ 新日鐵住金	■ パナソニック
■ 出光興産	■ 住友金属鉱山	■ 富士ゼロックス
■ 王子製紙	■ 住友化学	■ 日立製作所
■ オエノンHD	■ 帝人	■ ボッシュ
■ 花王	■ 東急建設	■ マルハニチロ
■ キューピー	■ 東芝	■ 三菱化学
■ キリン	■ ニコン	■ 三菱電機
■ クボタ	■ ニッカウヰスキー	■ 三井化学
■ カネカ	■ 日本IBM	■ ライオン
■ サントリー HD	■ 日本新薬	■ ヤンマー
■ 塩野義製薬	■ 日本たばこ産業	
■ 資生堂	■ 日本電信電話	

2018年度実施状況



資生堂



IHI



マルハニチロ

2018年度受講者アンケートより

自分の専門とは異なる領域の企業、また現在志望はしていない形態の企業の研究開発について知ることができた。

企業の研究者の方が実際に就職活動していたときの話やアカデミアではなくなぜ企業なのかといった現実的な話を聞くことができ参考になった。

企業の雰囲気を感じることができた。特に社員との交流で、どのような経緯で入社したのか、なぜその企業を選んだのか等を率直に聞くことができた点が非常に良かった。

⑩ 産学シーズ／ニーズマッチング人材交流会／ 企業研究サイトビジット

1. 実際に企業活動の現場を見よう!
2. 企業視線での自身のスキル評価!
3. 大学と企業で研究の差異を認識!



これも「赤い糸会」に参加し、企業との接点を構築した若手博士研究者を、ただ企業を訪問するだけではなく、実際に企業の研究者の前で自身の研究内容を発表し、企業研究の目線で見えたコメントや指摘を得、意見交換をすることにより、具体的な産業界への出口のイメージを構築します。

2019年度実施予定

- 第1回:2019年10月(予定)
第2回:2020年1月～2月(予定)

これまでの訪問企業

(敬称略、五十音順)

■ IHI	■ サントリー HD	■ 帝人
■ 旭化成	■ シスメックス	■ 特許庁
■ アステラス製薬	■ 秀和特許事務所	■ 日本電気
■ 大塚製薬	■ 住友化学	■ パナソニック
■ カネカ	■ ダイセル	■ 三菱電機
■ 京セラ	■ 大日本住友製薬	■ 三菱レイヨン
■ 神戸製鋼所	■ 田辺三菱製薬	■ ヤンマー

2018年度実施状況



アステラス製薬



大日本住友製薬



帝人



シスメックス



カネカ



ダイセル



京セラ



京セラ・研究発表

企業研究サイトビジットに参加して

阿尻 大雅

北海道大学 大学院
総合化学院 総合化学専攻 (DC3)
H31年3月修了予定
→シスメックス株式会社内定



私はS-cubic主催の企業研究サイトビジットに参加し、シスメックスを見学させていただきました。本誌を読んでいる皆さんにはあまり馴染みの無い会社かもしれませんが、シスメックスは検体検査機器・試薬で高いシェアを獲得しており、健康診断の項目にも必ずある「血球計数検査」においては世界シェアNo.1となっている会社です。

私が参加したサイトビジットでは、研究開発の中核拠点であるテクノパークを訪問しました。最初は所内のカンファレンスホール(かなり立派でした)に案内され、人事の方、研究所長から直接事業紹介をしていただきました。社員食堂で研究員の方との昼食後、所内を案内していただきました。見学では差し障り無いような場所をさっと見て回る程度かと思いましたが、研究開発を行っている実験室内も案内していただき、開発中の装置についての説明もしていただきました。その後は研究員の方々に対する研究紹介です。実際に研究開発を行っている方と普段とは異なる視点の意見交換が行うことができました。最後に、研究員の方と座談会形式で社内の雰囲気や仕事への取り組み方などの気になる情報を直接お聞きすることが出来ました。

このような濃密な時間は、自分が働く姿・企業に求める環境をイメージする上で大きな経験となりました。私は、このプログラムを通してシスメックスで働くことに大きな魅力を感じ、内定を頂くことができました。本プログラムは内定を度外視しても魅力的であり、企業への就職を考えている方には積極的に参加して頂きたいです。

最後に、本プログラムの開催にご尽力いただき、様々なご指導とご支援を賜りました、樋口先生(元担当教員)ならびにS-cubicの皆様へ深く感謝申し上げます。赤い糸会で、特に来て欲しいとチェックしていたシスメックスに研究発表を聞いてもらえず、いじけていたあの時の私にサイトビジットの案内がなければ、エントリーすらしていなかったかもしれません。サイトビジット後の反省会で食べたものに皆であたったことも今となってはいい思い出です。

⑪ 博士力実践インターンシップ

DC・PD



1. 実際に企業活動を体験してみる!
2. 自身が企業に向いているか判断!
3. 企業ならではの新しい視点獲得!

国内外の先進企業(グローバル企業・ベンチャー企業・オンリーワン企業)や公的機関、大学も含めたインターンシッププログラムです。企業における研究開発等の実体験を通して、多様な社会での活躍方法を体得する機会です。平成21年度から平成25年度までの5年間、人材育成本部(HoP-Station)で本事業を推進してきましたが、63名の北大のDC・PDが38社の企業でインターンシップを経験し、その中でマッチングの成立した80%の人が民間企業への就職を果たし活躍しています。本事業は平成26年度より人材育成本部(S-cubic)が担当しています。

希望する企業との接点づくりから支援します。是非この機会に応募されませんか?

2018年度実施状況

院生	インターンシップ先	所在地	期間
情報 DC3	海外大学	アメリカ	5週間
医学 DC2	医療機器	兵庫県	10週間
生命 DC2	化学	千葉県	1か月
総合化学 DC3	化学	栃木県	1か月
理学 DC2	金融工学	東京都	6週間
農学 DC2	化学	大阪府	1か月
総合化学 DC2	化学	大阪府	1か月
理学 DC1	国際機関	オーストリア	3か月
総合化学 DC1	製薬	京都府	1か月
総合化学 DC1	化学	神奈川県	2か月
環境科学 DC3	海外大学	アメリカ/メキシコ	5週間
保健科学 DC1	電気機器	東京都	1か月

インターンシップ概要

対象者	北海道大学に所属する博士後期課程院生、博士學位取得後5年以内の者(パーマネント職員を除く)
人数	10名
受入企業	国内外の企業・大学
期間	1~3ヵ月程度
条件	学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険(インターンシップ保障)に加入すること。その他詳細条件は受入企業によって異なる。

受入企業からの声

企業が博士に期待するもの

- 競争を勝ち抜く強い意思
- グローバルな視点と統合力
- 自ら課題を発見し、その解決策を生み出す力
- 市場のニーズを敏感に感じ取る知性と感性
- 基盤となる学術の確実な理解と、常に自ら学ぼうとする強い意欲に裏打ちされた異分野技術者とのコミュニケーション能力とフレキシビリティ

企業にとってのインターンシップの意義

- 大学との関係構築、協力関係の深化
- 優秀な人材の確保、発掘
- 新技術、新テーマの導入促進効果
- 職場の活性化
- 企業のPR

大学院博士課程で伸ばしておくべき能力

- 習った知識を駆使して問題を設定し、解決していく能力
- 複雑な課題を整理する能力
- 倫理的に考える能力
- アイディアを創造していく能力
- 異分野技術者とのコミュニケーション能力
- 文章で的確に情報を伝える能力
- 社会に対する幅広い関心

インターンシップに行くまでの流れ



<ul style="list-style-type: none"> ■ アミノアップ化学 ■ アルファ水工コンサルタンツ ■ 医学生物学研究所 ■ 花王 ■ カネカ ■ クラシエ製薬 ■ 栗山町農業振興公社 ■ KDDI研究所 ■ 高研 ■ 神戸製鋼所 ■ サントリー HD ■ JFEエンジニアリング ■ JAきたみらい ■ JNC ■ 塩野義製薬 	<ul style="list-style-type: none"> ■ シスメックス ■ 島津製作所 ■ 新日鐵住金 ■ 住友化学 ■ 住友電気工業 ■ セラバリュース ■ ダイナックス ■ 帝人 ■ データフォーシーズ ■ 東急建設 ■ 東芝 ■ 東レ ■ 日生バイオ ■ ニッピ ■ 日本IBM 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本アレフ ■ 日本ゼオン ■ 日本データサービス ■ 日本電気 ■ パナソニック ■ 阪大微生物病研究会 ■ ピアメカニクス ■ 日立製作所 ■ 富士通研究所 ■ 北海道システム・サイエンス ■ マルハニチロ ■ みずほ第一フィナンシャルテクノロジー ■ 三井化学 ■ 三菱電機米国研究所 ■ ヤンマー 	<ul style="list-style-type: none"> ■ リコー ■ リバネス ■ ロート製薬 ■ Alberta University ■ Bejo Seeds ■ Duke University ■ Dupont Pioneer ■ IAEA ■ NemGenix ■ New South Wales University ■ Sapienza - Università di Roma ■ Starfighters ■ Texas A&M University ■ The University of Massachusetts
---	---	--	---

インターンシップに参加して Message

北海道大学 大学院
工学院 量子理工学専攻 (DC3)
H31年3月修了予定
→住友化学株式会社内定



私は卒業後、企業に就職することを決意して博士課程に進学しました。しかし、大学の専攻内では博士課程を卒業してから企業に就職する人は珍しく、就職の具体的なイメージがほとんどありませんでした。そのため、企業における研究開発のあり方や企業で活躍するために必要なことを体験し、その体験を学生生活や就職活動に活用することを目的としてインターンシップに参加しました。インターンシップ先は、人材育成本部を通して参加したイベントで出会った住友電気工業のインターンシップに決めました。一般的なインターンシップの募集と違って、私が参加したイベントでは企業の研究者や人事の方と交流して自分に合ったインターンシップ先を見つけることができました。

インターンシップ先では、新機能材料の合成について7週間の期間研究しました。前半は研修のような内容が主でしたが、後半は社員に近い立場で研究・開発に取り組みました。(企業の研究開発を体験するためには少なくとも一ヶ月半くらいの期間はあった方がいいと思います。)企業の研究・開発は技術の応用先が明確で、数値目標(材料の特性やコスト)もはっきりとしています。明確な応用先を意識しながら、目標を達成するために研究・開発に取り組むことは非常に楽しかったです。私の研究テーマにも応用先の製品や数値目標があり、目標に向かって課題を解決していきました。大学で培った情報を読み取る力や論理的思考力は、企業の研究・開発の場でも活用することができると感じました。

インターンシップに参加することで、企業に就職したいという気持ちが一層強くなりました。また、博士課程で培った力に自信を持って、その後の就職活動に取り組むことができました。企業への就職を考えている方にとって、インターンシップで企業を実際に体験することは重要だと思います。企業のことを知り、皆さまには悔いのない選択ができることをお祈りしています。

インターンシップに参加して Message

北海道大学 大学院
情報科学研究科 情報理工学 (DC3)
H31年3月修了予定
→ヤフー株式会社



博士課程の卒業後の進路をアカデミックか企業かで悩んでいた自分は、実際に体験してから進路を決定しようと考え、みずほ第一フィナンシャルテクノロジー(みずほ第一FT)という企業に1カ月間のインターンシップを行いました。

みずほ第一FTへのインターンシップのきっかけは、人材育成本部からの参加募集メールでした。金融工学というあまり馴染みのない分野での募集でしたが、調べてみると自分の知識や経験が活かせるような分野であることがわかりました。他分野を経験することで、就職活動での視野を広げることが可能かもしれないと思い、インターンシップへの参加を決意しました。インターンシップでは、自分の研究分野である機械学習を利用し、実データを用いて各種予測モデルの作成等の業務を行いました。業務では常に締め切り日が設定されており、普段締め切り日を意識しない研究生活を送る自分にとっては、非常にスピード感のある生活でした。短期的に目標を定めて仕事を行っていく経験は、自身の普段の研究生活に対する姿勢を改めるきっかけになりました。仕事内容についての丁寧な説明があったために仕事自体は難しくありませんでしたが、仕事をしていく中で、これまで学んできたことの基礎的な技術や知識が重要であることを再認識し、そうした知識・技術は他分野でも十分活用可能であることを実感しました。実データを扱うという非常に貴重な体験ができましたし、企業で働くイメージも持つことができました。また、普段の研究生活を見直すきっかけにもなったので、非常に有意義なインターンシップであったと感じています。

自分は、インターンシップに参加したことで、自分に足りないものを自覚できましたし、普段の研究生活を見直すこともできました。それらは結果的に就職活動をする上での視野を広げ、納得のいく進路決定に繋がったと感じています。後輩の皆様には、インターンシップへの参加をお勧めします。

博士インターンシップ体験報告会 MC・DC・PD

主に民間企業への中長期インターンシップ(1ヶ月~3ヶ月程度)を体験した現役博士や受け入れ企業の方々、送り出した指導教員による体験報告会です。

2017年度実施状況



体験報告



受け入れ企業



派遣教員

2017年度受講者アンケートより

なかなか博士課程の就職についての情報が得られないので、実際にインターンシップに参加されている方の体験談を聞ける場は重要でした。

博士課程での就職に関わる情報が少なく、進路について悩んでいた中で実際にインターンにいった方々の話、そして企業さんの話が聞けたのは本当に重要でした。

外国人DC・PDのための

I-HoP

Graduate Career Development for International Students and Researchers

I-HoP は若手外国人研究者（博士後課程、ポスドク）向けのキャリア形成支援を行っています。

本学では、日本語を使わず英語のみで研究活動を行う外国人博士後課程留学生、ポスドク研究者が増えています。そのような若手外国人研究者の中で、卒業後、ないしポスドク任期終了後も日本でのキャリアを希望する人々に対し、I-HoP はキャリアカウンセリング、能力強化プログラム、産業界とのマッチング事業などを英語で提供しています。対面式のプライベートなキャリアカウンセリングは事前予約制で、英語ないし日本語で行います。各種イベントへの参加登録、自身のPRシート公開による企業へのアピールなど…全てのI-HoPのサービスは、専用情報基盤Hi-System(<https://www2.synfoster.hokudai.ac.jp/Hi-System>) に登録すると受けられます。

I-HoP (Hokudai International Human Resource Development Program)

I-HoP supports career development of young researchers (Doctor Course students and Postdocs) from abroad.

There are increasing number of international researchers who are studying only by using English at Hokkaido University. Some of them may seek for careers in Japan after their graduation or completion of their postdoctoral terms. I-HoP provides career consultation, skills enhancement programs and matching opportunities especially for the industrial careers. Private face-to-face career consultation for international researchers is conducted in English or in Japanese by making appointment in advance. Registration to seminars and other events, making contact with corporations by posting your PR sheet... all the I-HoP services can be accessible by registering to the Hi-System (<https://www2.synfoster.hokudai.ac.jp/Hi-System>), an exclusive information exchange platform.

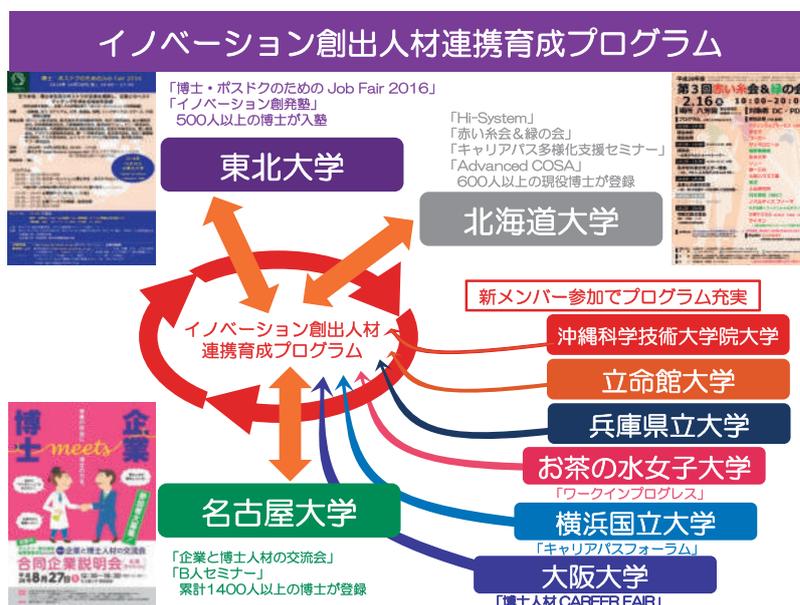
連携型博士人材育成コンソーシアム

COFRe(大学間連携)

連携型博士研究人材総合育成システム イノベーション創出人材連携育成 プログラム

2014年10月に文部科学省に採択された、連携型博士研究人材総合育成システムの構築事業により、北海道大学が代表機関となり、東北大学・名古屋大学の3大学のコンソーシアムが発足しました。現在は大阪大学、お茶の水女子大学、横浜国立大学、立命館大学、兵庫県立大学、沖縄科学技術大学院大学とも連携し9大学に規模が拡大しています。

本コンソーシアムでは各大学が独自に設計、推進している博士課程学生(DC)や博士研究員(PD)に対する洗練されたキャリアパス多様化支援プログラムのうち、相互に内容の補強、補完が期待できるものを選定し、どの大学からも参加できるようにすることで、コンソーシアム形成のメリットを最大限生かした一層効果的な人材育成プログラムを構築します。これにより、例えば本学の赤い糸会に他の8大学からも参加できますし、8大学が実施する様々なプログラムに北大から参加も可能となります。参加希望者はまずHi-Systemに登録し、ご利用ください。



人材育成本部におけるS-cubic活動のご紹介

北海道大学 人材育成本部 上級人材育成ステーション
業務実施責任者
教授 伴戸 久徳



人材育成本部の S-cubic では、大学院学生 (MC・DC) や博士研究員 (PD) 等若手研究者に対し、多様なキャリアパスを開くための能力開発プログラムを提供しています。これは科学技術・知識に基づく高度な研究力を有する研究者が社会の多様な分野において責任ある立場で活躍するために必要なスキル (Transferable Skills) を提供するプログラムです。平成 18 年度に S-cubic としてスタートして以来、多くの企業や教員の方々のご協力を得、10 年間の試行錯誤と改良を重ね、「Advanced COSA」、「キャリアパス多様化支援セミナー」、「赤い糸会」等の厳選されたプログラムを開発・普及・定着に努力し、さらに「キャリアマネジメントセミナー (MOT 関連)」、「博士力実践インターンシップ」「Advanced COLA」などの新プログラムを軌道に乗せることができました。

平成 23 年度以降はこれら単独、あるいは組み合わせで 4 つの科目を大学院共通授業科目として単位化しました。これ以外にも、MC・DC・PD と企業の登録制 Web コミュニケーションシステム「Hi-System」、DC や PD 専用の進路相談窓口「J-window」等のサポート機能を充実させています。その結果、多くの企業の方々から、「ぜひ北大のプログラムから採用を検討

したい」などの嬉しいコメントが寄せられており、これは 10 年間の S-cubic 活動の積み重ねの成果と考えています。

また平成 26 年度秋から、本学と同様に人材育成プログラムを展開している東北大および名古屋大の三大学がコンソーシアムを組み、それぞれのプログラムに相互乗り入れ、参加枠提供などの協働ができるようになったことで、ますますその内容が充実しています。さらに昨年、この人材育成コンソーシアムには新たに 2 大学が参加することとなり、そのプログラム群は多様な若手人材が集う場としていっそうの広がりを見せています。これらの実態については、本冊子に詳しく記載しましたので、ぜひ一読下さい。

S-cubic は、皆さんが自らの進路やキャリアを開拓していくために必要なスキルを身に付けるための情報や産業界とのマッチングの場等を提供します。まず Hi-System に登録しプログラムに参加してみてください。きっと視野が大きく広がると思います。またプログラム参加経験者は仲間にその情報を是非伝えてください。皆様のご活用を期待しています。

人材育成本部

組織と役割

人材育成本部は、博士課程学生 (DC) や博士研究員 (PD) のキャリアパス多様化支援をはじめ、次世代リーダーとしてのテニュアトラック教員の採用と育成、また研究者を目指す女性の教員や学生のための環境整備・支援活動を行います。



上級人材育成ステーション

S-cubic ☆

- 若手研究者の就職支援事業の実施、意識調査、カウンセリング/J-window
- 人材関係情報 (大学院生、研究者、教員、企業) の交換や集積と解析/Hi-System
- キャリア形成プログラムの開発と推進/Advanced COSA、キャリアマネジメントセミナー、キャリアパス多様化支援セミナー、演習や講習
- 企業情報の直接入手とマッチング、自己PR能力向上/赤い糸会
- 博士力実践の向上と実務体験/博士力実践インターンシップ

I-HoP (海外からの若手研究者対応プログラム) ☆

- 海外からの若手研究者の意識調査、国内外大学院キャリア支援組織の調査と連携
- 海外からの若手研究者のためのキャリア相談窓口設置や Hi-System の改良
- 海外からの若手研究者のためのキャリア形成プログラム開発

テニュアトラック普及・定着事業推進室

若手教員育成プログラム

女性研究者支援室

- 女性が研究者として活躍できる環境整備、支援の企画、立案、推進、展開
- 女性研究者・女子学生が必要とする情報提供・支援・相談のワンストップサービス
- 女性研究者ネットワーク、メンタリングシステムの構築

連携型博士研究人材育成推進室 (COFRe) ☆

- 北大、東北大、名大で協働して若手研究者育成 (現在は、大阪大学、お茶の水女子大学、横浜国立大学、兵庫県立大学、立命館大学、沖縄科学技術大学院大学とも連携)
- 施策の相互乗り入れ、参加枠提供、共同開催

☆: DC・PD のキャリア支援チーム

年間スケジュール(予定)

▽2019年度

開催時期	アクティビティー	MC	DC	PD	単位
4月～8月	キャリアマネジメントセミナー(MOT関連)	●	●	●	☆
6月	キャリアパス多様化支援セミナーⅠ(知的財産)	●	●	●	☆
7月	キャリアパス多様化支援セミナーⅡ(プロジェクトファシリテーション)	△	●	●	☆
7月	キャリアパス多様化支援セミナーⅢ(交渉学)	△	●	●	☆
8月	Advanced COSA(1)	●	●	●	☆
8月	Advanced COLA	●	●	●	
9月	第39回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習	×	●	●	☆
9月	第39回赤い糸会&緑の会	×	●	●	☆
10月上旬	ビジネスマナーの基本と実践	△	●	●	
11月	第40回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習	×	●	●	☆
11月	第40回赤い糸会&緑の会	×	●	●	☆
11月上旬	ビジネスコミュニケーションセミナー	△	●	●	
11月下旬	Advanced COSA(2)	●	●	●	☆
1月	第41回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習	×	●	●	☆
1月	第41回赤い糸会&緑の会	×	●	●	☆
1月	企業事業所視察	×	●	●	☆
3月上旬	博士インターンシップ体験報告会	●	●	●	

●受講対象 ○条件付き受講対象 △イベント開催案内参照 ×受講対象外

☆単位取得要件についてはシラバスを参照

※詳細日程や時間等はホームページでご確認下さい。

[URL] <http://www2.synfoster.hokudai.ac.jp/S-cubic>



北海道大学 人材育成本部 上級人材育成ステーション S-cubic

〒060-0812
札幌市北区北12条西7丁目
中央キャンパス総合研究棟1号館 1階

TEL: 011-706-3275 FAX: 011-706-3584
E-mail: s-cubic@synfoster.hokudai.ac.jp
URL: <http://www2.synfoster.hokudai.ac.jp/S-cubic>



【発行元】北海道大学 人材育成本部 上級人材育成ステーション S-cubic
【発行日】2019.3.15